令和７年度第１回竹富町観光案内人条例等審議会
議事概要

【日時】　令和８年２月 25 日（水）　9:30～12:00

【場所】　竹富町役場庁議室（オンライン会議併用）

【出席者】（敬称略）

【委員】

所属	役職	氏名	備考
一般社団法人ニュー・パブリック・ワークス	代表理事	上妻　毅	
神奈川大学法学部	准教授	諸坂　佐利	
元琉球大学教授		花井　正光	
西南学院大学法学部	教授	勢一　智子	
沖縄大学人文学部	教授	宮城　能彦	
環境省沖縄奄美自然環境事務所 西表自然保護官事務所	自然保護官	桑原　大	
竹富町観光協会	会長	大島　佐喜子	欠席
竹富町自然観光課	課長	通事　太一郎	

【オブザーバー】

所属	役職	氏名	備考
株式会社プレック研究所	参事	松井　孝子	

【事務局】

所属	役職	氏名	備考
竹富町自然観光課	課長補佐	髙橋　優人	
竹富町自然観光課	主幹	金城　有作	
竹富町自然観光課	係長	西原　彰浩	
一般財団法人西表財団	事務局長	北龍　智	
一般財団法人西表財団		浅利　祐美子	

【議事】

(1)　委員の退任について

(2)　令和７年度における竹富町観光案内人条例の運用状況

(3)　竹富町観光案内人条例制定処分取消等請求事件の審理状況

(4)　西表島における観光管理の制度枠組みの見直し

(5)　「責任ある観光」の実現に向けた今後の事業展開

(6)　その他

【配布資料】

資料１　　令和７年度における竹富町観光案内人条例の運用状況について

資料２　　竹富町観光案内人条例制定処分取消等請求事件の審理状況について　（非公開資料）

資料３－１　西表島における観光管理の制度枠組みの見直しについて　（非公開資料）

資料３－２　竹富町観光案内人条例の主な改正条項イメージ　（非公開資料）

資料４　　「責任ある観光」の実現に向けた今後の事業展開について

参考資料１　竹富町観光案内人条例等審議会設置要綱（令和６年竹富町告示第 65 号）

参考資料２　竹富町観光案内人条例（令和５年竹富町条例第 24 号）

参考資料３　西表島エコツーリズム推進全体構想(抄)(2022 年 12 月・竹富町西表島エコツーリズム推進協議会)

【議事要旨】

議事(1) 委員の退任について

花井委員より委員退任の申し出があった。

審議会設置要綱においては委員の退任に関する規定がないため、委員の審議において退任を了承することとした。

議事(2) 令和７年度における竹富町観光案内人条例の運用状況

事務局より資料１に沿って説明がなされ、その後、委員による審議が行われた。

委員からは、観光案内人の事業者数の増減についての確認があった。

議事(3) 竹富町観光案内人条例制定処分取消等請求事件の審理状況

事務局より資料２に沿って説明がなされ、その後、委員による審議が行われた。

要旨については、議案の性質上、非公開とする。

議事(4) 西表島における観光管理の制度枠組みの見直し

事務局より資料３－１，３－２に沿って説明がなされ、その後、委員による審議が行われた。

制度の明確化に向けた見直し案に対して、委員より様々な意見が出された。

これまでの運用状況や実効性に留意する点、関係法令との関連性等について議論がなされ、

今後事務局案を基本として見直しを進めることが確認された。

議事(5) 「責任ある観光」の実現に向けた今後の事業展開

事務局より資料４に沿って説明がなされ、その後、委員による審議が行われた。

委員からは、現状の課題認識から施策展開の可能性に対して、以下のような意見が出された。

・人口減少が続く中、関係人口を増やして地域を元気にしていく流れをつくることは大切なことであり、関係人口から共創人口という考えにも賛同できる。竹富町は、単なる観光のその先を見据えた時のポテンシャルは非常に高いと考えられる。

・「責任ある事業者」の要件についての評価方法は、最低限の資質とそれにプラスされる知識の豊富さや地域との関わり等を分けて考える必要がある。また、外部資格の取得など客観性のある評価にするとよいのではないか。また、既存の認証制度を使っていくことも並行して検討すると良いのではないか。

・沖縄県においても、グッドプラクティス推奨制度（エコ認証制度）事業が進められており、事業者の取組みを社会的に認証する制度を構築しようとしている。制度間の適切な役割分担を整理しつつ、連携して進めることが望ましい。

・海士町のアンバサー制度が紹介されているが、先行事例として大変参考になる。実際の運営においては、地元で主体となり動く組織が重要となる。海士町に現地調査を行う等により、今現在海士町にあって西表に無いものを見つけると良いのではないか。

これらの意見を踏まえつつ、引き続き検討をすすめていくことが確認された。

以上